

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名【新】DPAT先遣隊編成整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3313)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,413 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,413	1,706	0	0	0	0	0	0	1,707
決定額	1,707	853	0	0	0	0	0	0	854

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

大地震や豪雨といった災害時に、被災地へ迅速に駆けつけ、精神医療活動を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT)の整備を行っており、令和3年度末時点で、災害時に活動を行う岐阜DPATは県内7病院8チーム編成しているが、発災から概ね48時間以内に被災地において活動を行うDPAT先遣隊については登録されていない。

国(厚生労働省)のDPAT活動要領では「都道府県はDPATの整備に努めること」とされるが、広域災害等で活動隊の不足が懸念されており、早急な整備が必要である。

(2) 事業内容

災害時にも安定した活動を行うため、DPAT先遣隊に登録された精神科病院に対して、通信手段確保に必要な衛星携帯電話機など、現地活動に必要なDPAT関連資機材に係る購入補助を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/3、県1/3、DPAT先遣隊登録病院1/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,413	現地活動に必要なDPAT関連資機材
合計	3,413	

決定額の考え方

既にDPAT先遣隊に登録されている医療機関分のみ計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

保健医療計画にDPATについて記載有。

(2) 国・他県の状況

DPAT先遣隊は、令和3年度末時点で岐阜県、東京都、奈良県の3都県のみが未登録であったが、その後、岐阜県、東京都が登録され、令和4年7月末時点では、奈良県のみが未登録。

(3) 後年度の財政負担

DPAT先遣隊編成整備のため継続して必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

DPAT先遣隊は、発災から概ね48時間以内に、被災した都道府県において活動しなければならないが、DPAT関連資機材を事前に準備しておくことで、早急な活動が可能となることから、DPAT先遣隊編成整備のため県負担は妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
DPAT先遣隊を令和7年度までに4隊登録する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
DPAT先遣隊数	0	/	/	2	4	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 D P A T先遣隊として登録される精神科病院が、発災から概ね48時間以内に被災地において活動を行うために必要な人員及びD P A T関連資機材の確保。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 広域災害等で活動隊の不足が懸念されていることから、精神科病院にD P A T先遣隊の登録を促し編成整備を進めていくため、現地活動で必要なD P A T関連資機材に係る購入補助を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】